

水土里フォーラム

カレッジミーティング in 三重大学（第2回目）を開催

平成20年11月13日(木)、三重大学において三重大学大学院生物資源学研究科 共生環境学専攻水資源工学研究室 加治佐教授の講義の一コマをお借りし、学生約20名を対象に「水土里フォーラム カレッジミーティング in 三重大学」を開催しました。

今回は、宮川用水第二期農業水利事業所の梶原所長が「斎宮調整池建設工事における環境影響評価と環境保全措置」と題し、斎宮調整池建設工事の概要及び調整池における環境影響評価項目と環境保全措置に関して話題提供を行いました。

特に生物の多様性の確保及び自然環境の体系的保全対策では、陸生動物、陸生植物、水生生物、生態系に分けて、事業実施区域周辺で確認された生物調査の結果（環境省及び三重県のレッド・データブックの生物）と、事業実施に伴う各々の生物への影響、そして環境保全措置が具体的に示されました。

そして最後に、沈砂池の設置、法面等の緑化、重要な種の移植、浅瀬の保全・創出、生物に配慮した側溝の採用など、様々な措置が記された調整池の図に学生は頷いていました。

学生からは、生物多様性の話は非常に興味深かった、調整池内の一部を島として残すことが環境面のみならず工事上も有利だったことなど工事と環境対策の両立の話は面白かった、事業に際しての環境調査の話は面白かったなどの感想が寄せられました。指導教官にも学生にとって農業農村整備事業の具体的な実施手法を知る良い機会となったと評価していただきました。

講義の様子

